

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地域に密着した商業展開への支援	施策コード	21101	施策主管部課	環境経済部 商業観光課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	商業の振興			関係課	
	(3) 節の目的	地域に密着した商業の活性化をすすめるとともに、新たな商業展開を支援します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	地域に密着した商業の活性化を図るため、個店の専門性の強化や我孫子市ふるさと製品の開発などによる特色ある商店づくりや、買い物しやすい環境づくりなど、商業者が市民、農業者などのさまざまな主体と連携しながら、消費者ニーズにあった新たな商業展開が行えるよう支援します。また、我孫子の観光資源をいかした新たな商業の振興につながる取り組みを支援します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市内商業者			
どういう状態に		地域に密着した商業展開が図られている				
(6) 施策実施上の課題と対応	・ 施策目標を達成するための新たな事業を立案・実施する必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 我孫子市ふるさと製品の品数	ふるさと産品を普及することにより、市内事業者の活性化、我孫子のPRにつながる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	品	26	28	28	29
		実績値		26			
		達成率		100.00			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	238,408	7,242	7,067	0
		人件費	11,745	5,655	5,655	0
		合計	250,153	12,897	12,722	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	232,819			
		人件費	18,705			
合計		251,524				

施策を構成する事務事業

事務事業名	商業活性化策の推進				課名	商業観光課		
指標	事業推進計画に位置づけた事業の実施割合				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	6,842	5,655
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,840	6,090

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、「地域に密着した商業展開への支援」という施策の実現において効果的な事業であり、時流に応じた活性化策を打ち出していくために必要な事業である。

事務事業名	我孫子市ふるさと産品育成事業				課名	商業観光課		
指標	「我孫子市ふるさと産品」推奨品の品数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	25	目標値	26	単位	品	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	26	達成率	100.00			予算額	400	2,610
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	400	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

対外的なイベントや広域での市のPRといった際に、いわゆる「お土産品」は必須であることから、事業への一定程度の貢献は認められる。産品推奨品の増加は市の地域産業の増強に繋がるものであり、今後も推進していく。

事務事業名	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援				課名	商業観光課		
指標	クラウドファンディング支援額				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	15,000,000	単位	円	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	28,705,500	達成率	191.37			予算額	230,166	3,480
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	その他	実績値	229,579	10,440

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

支援金事業、クラウドファンディング事業ともに想定以上の数値による着地であった。事業者への直接的・間接的な支援という目的は達成しており、新型コロナによる影響を緩和するためのものであることから事業としての優先度は高い。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
地域に密着した商業の活性化を進めるため、令和2年度は新たに、これまでの空き店舗活用への支援や街路灯などの支援などを集約して、商店会でのさまざまな活性化の取り組みに対して補助金を交付する支援策を実施する予定である。また、ふるさと商品の育成も引き続き、地域の商店や商店会への支援として必要である。	地域に密着した商業の活性化を進めるため、地元商店会を支援する施策は重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
商業活性化策の推進においては、新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベントや取り組みを自粛、変更せざるをえない状況もあったが、コロナ禍に対応して実施された取り組みもあり支援することができた。我孫子市ふるさと産品育成事業においては、コロナ禍においてイベントなどは中止となったものの、我孫子の歴史にヒントを得た将門麦酒が追加となり、イベントの代替として新たにチラシを作製、新聞折り込みを行ったところ反響も大きかった。さらに、コロナ禍で窮状にあった事業者への支援として、急遽、事業継続支援金事業を計4回、飲食店支援のためのあびちケ事業を実施し、業種を問わず支援できた。	地域に密着した商業展開への支援として、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により状況は大きく異なったものの、変化に応じた支援策を講ずることができ、機を逃さず効果的に実施できたものとする。特に、コロナ禍において影響を大きく受けた事業者に対し、国や県の支援が及ばない部分をカバーできたことは大きかった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	商業団体の活動への支援	施策コード	21102	施策主管部課	環境経済部 商業観光課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	商業の振興			関係課	
	(3) 節の目的	地域に密着した商業の活性化をすすめるとともに、新たな商業展開を支援します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	商業の活性化を図るため、商工会や商店会などの商業団体が、市民、農業者などと連携しながら行う、地域に密着したイベントなどの活動を支援します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	商業団体と市民や農業者			
どういう状態に		相互の連携により、商業が活性化している				
(6) 施策実施上の課題と対応	商工会の活性化を図ること。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 商業団体のイベント数	イベントを実施することにより、商業者及びまちの活性化につながるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	件	9	9	8	8
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	10,060	11,660	11,660	0
		人件費	6,525	3,915	3,915	0
		合計	16,585	15,575	15,575	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	10,060			
		人件費	4,350			
合計		14,410				

施策を構成する事務事業

事務事業名	商工会育成事業				課名	商業観光課	
指標	我孫子市商工会への加入率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	47	目標値	49	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	46	達成率	93.88			予算額	10,060
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	10,060 3,045

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

全市的な商工業支援を行う商工会に対する補助事業であり、優先度、貢献度ともに高い。今後も継続して支援し、商工会及び加入している事業者を支えていく必要がある。

事務事業名	我孫子市産業まつり				課名	商業観光課	
指標	来場者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	15,000	目標値	16,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0 1,305

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、例年多くの来場者があり、市の産業振興に寄与する事業である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
商業活動団体への支援は、地域の産業の活性化のために必要不可欠である。支援の方法については、その妥当性を検証しながら進めていく必要がある。	商業活動団体への支援は、地域の産業の活性化のために必要不可欠である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
産業まつりをはじめとする各種イベントは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためやむを得ず中止となったが、適切な判断であった。 また、市内商工業者を支える組織である我孫子市商工会への支援として行っている商工会育成事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響のため、取り組み内容などには変更が生じたものの、国や県の支援策の情報提供や申請手続き、申請支援など、商工会が担った役割は大きく、市内商工業者の経営支援の一助となった。	商業団体の活動への支援として、我孫子市商工会への補助金交付は不可欠であり、令和2年度は特に新型コロナウイルス感染症の影響を受けた商工業者へのサポートを担ったことから効果的であったと考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	観光資源をいかした地域産業の活性化	施策コード	21201	施策主管部課	環境経済部 商業観光課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	観光の創出			関係課		
	(3) 節の目的	我孫子の資源をいかした魅力ある観光を創出し、地域産業の活性化をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、歴史・文化など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用していきます。また、我孫子市最大の観光資源である手賀沼周辺では、観光客をさらに呼び込み、もてなす環境づくりに取り組み、交流人口の拡大に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市内外の多くの人々				
		どういう状態に	我孫子で楽しみ、交流人口が拡大している				
(6) 施策実施上の課題と対応	観光・イベント情報の効果的なPR手法を研究し、実践する必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 観光による交流人口数（3イベントの合計）	イベント来場者数を指標をすることで、イベントのニーズ等検証できる。（3イベント：ジャパンバードフェスティバル・手賀沼花火大会・産業まつり）					
	② 観光による交流人口数（4施設の合計）	施設来場者を指標とすることにより交流人口の推移を確認し、交流人口の拡大を進めていく。（4施設：鳥の博物館・手賀沼親水広場・東我孫子カントリークラブ・我孫子ゴルフ倶楽部）					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	218,000	218,000	218,000	218,000
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値	人	591,500	592,000	592,000	592,000
		実績値		557,373			
		達成率		94.23			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	21,681	20,887	20,839	0	
		人件費	20,445	23,316	20,271	0	
		合 計	42,126	44,203	41,110	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	15,527				
		人件費	13,920				
合 計		29,447					

施策を構成する事務事業

事務事業名	手賀沼周遊レンタサイクル・ミニSL事業				課名	商業観光課		
指標	利用者数				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	26,749	目標値	35,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	21,846	達成率	62.42			予算額	18,262	3,045
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	15,089	3,480

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

近隣市からの来訪者も見込まれ、事業実施場所を手賀沼周辺とすることで、施策である「観光資源をいかした地域産業の活性化」につながる取り組みとなることから、引き続き推進していく。

事務事業名	手賀沼花火大会				課名	商業観光課		
指標	来場者数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	150,000	目標値	0	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0			予算額	0	3,915
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,305

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和2年度は中止となったが、我孫子市最大級のイベントで、我孫子市や手賀沼の知名度及びイメージ向上に大いに寄与し、市内外から多くの方が訪れることから、交流人口拡大が目標の本施策に貢献の大きい事業である。

事務事業名	TEGAスタンプラリー				課名	商業観光課		
指標	スタンプラリー応募人数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	2,203	目標値	2,500	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	2,175
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	870

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、近隣市との広域的なつながりによるイベントの実施は、PRの広域化や内容の充実等相乗効果を生むものであり、施策への貢献度もある。

事務事業名	観光振興策の推進				課名	商業観光課		
指標	観光振興計画の年度ごとにおける推進進捗率				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	60	達成率	60.00			予算額	918	6,090
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	437	5,220

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、我孫子市の観光振興策を推進するための基本となる計画であるため、施策への貢献度は高い。

事務事業名	マスコットキャラクターの活用				課名	商業観光課		
指標	キャラクターの着ぐるみ貸出件数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	0	目標値	100	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	120	2,610
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,740

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により着ぐるみ貸し出しは中止したが、市のPR素材として、各種イベントや広報媒体への活用がなされており、施策への貢献はある。今後も、市のPRにおいて積極的に活用していくために必要な事業である。

事務事業名	あびこカップまつり				課名	商業観光課		
指標	来場者数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	27,000	目標値	22,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	1	2,610
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1	1,305

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、事業者や市民との共催事業であり、地元商業・観光が一体となった事業であること、多くの来場者があることから、商業・観光双方に寄与する事業であり、施策への貢献がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
観光の振興のためには、手賀沼をはじめ市内各所での策を講じ、実行することは有効である。事業を遂行するためには、さらなる事業の効率的で効果的な取り組みが必要である。	観光の振興のためには、手賀沼をはじめ市内各所での策を講じ、実行することが有効である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
観光振興策を推進するため、第二期観光振興計画に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置を含めて、各事業を実施した。もともとオリンピックにより中止としていた手賀沼花火大会やTEGAスタンプラリー、カップまつり、マスコットキャラクターの貸し出しなどは状況を鑑み中止とした。レンタサイクルやミニSLは、緊急事態宣言中は中止し、その後、感染予防策を講じて再開したところ、多くの利用者があった。合わせて、踏切警報器の交換とレンタサイクルの更新も適切に行うことができた。	観光振興策を活かした地域産業の活性化としては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、イベントや取り組みなどは自粛や中止をせざるを得なかった状況である。そのなかで屋外の事業であるレンタサイクル、ミニSLなどは、遠方までは外出できない状況下でも感染防止対策を施したなかで来訪者もあり、手賀沼を活かした事業として効果があったと考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	観光やイベントなどの地域情報の発信	施策コード	21202	施策主管部課	環境経済部 商業観光課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	観光の創出			関係課		
	(3) 節の目的	我孫子の資源をいかした魅力ある観光を創出し、地域産業の活性化をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	多くの方が我孫子で楽しめるよう、手賀沼、利根川などの豊かな自然や歴史・文化などの観光資源をはじめ、ジャパンバードフェスティバルなどのイベント情報や飲食店などの地域情報を、我孫子インフォメーションセンターを中心に、広報や市ウェブサイト、SNS等も活用して、絶えず市内外へ発信します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市内外の人々				
		どういう状態に	観光やイベントなどの地域情報が絶えず発信されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	観光・イベント情報の効果的なPR手法を研究し、実践する必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① アビシルベの来館者数	来館者数を指標とすることで、PR効果が期待できる。					
	② アビシルベのHPアクセス数	アビシルベのHPのアクセス数は、どのくらい発信した情報がキャッチされているかが計れる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	41,000	42,000	43,000	43,000
		実績値		20,373			
		達成率		49.69			
	②	目標値	件	100,000	110,000	110,000	110,000
		実績値		107,920			
		達成率		107.92			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	23,992	25,608	24,245	0	
		人件費	2,175	2,175	2,175	0	
		合 計	26,167	27,783	26,420	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	23,964				
		人件費	3,045				
合 計		27,009					

施策を構成する事務事業

事務事業名	我孫子インフォメーションセンター運営事業				課名	商業観光課	
指標	我孫子インフォメーションセンターの来館者数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	40,764	目標値	41,000	単位	人	事業費(千円)	
実績値	20,373	達成率	49.69			正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	23,992
						実績値	23,964
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言中など一時的に閉館する状況もあったが、我孫子インフォメーションセンター「アビシルベ」は、我孫子の魅力を発信する重要拠点であり、施策への貢献度は高い。							

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
観光やイベント等、地域情報発信基地である我孫子インフォメーションセンターの運営を指定管理者が行うことにより、他の民間事業者や市民との協働、及び柔軟な情報発信や企画運営が行いやすくなる。地域の盛り上げには常に生きた情報を発信していく必要があり、指定管理者のフレキシブルな対応が肝となるため、本施策は非常に有効である。	観光やイベント等、地域情報発信基地である我孫子インフォメーションセンターの運営を指定管理者が行うことにより、他の民間事業者や市民との協働、及び柔軟な情報発信や企画運営が行いやすくなる。地域の盛り上げには常に生きた情報を発信していく必要があり、指定管理者のフレキシブルな対応が肝となるため、本施策は非常に有効である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
我孫子インフォメーションセンター運営事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、展示やイベントなどは自粛、縮小、中止を余儀なくされたが、ウェブサイトやSNSなどを活用した取り組みを拡充し、動画作成なども実施、コロナ禍に対応した情報発信に努めた。	我孫子インフォメーションセンターアビシルベは、観光情報等の発信手段として主たるものであり、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて一時閉館などをしたものの、外出自粛などの社会情勢に合わせてインターネットを活用した情報発信を充実させるなど有効な取り組みが行えたと考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	住工混在の解消に向けた企業の集団化	施策コード	21301	施策主管部課	環境経済部 企業立地推進課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	工業の振興			関係課	
	(3) 節の目的	企業間や研究機関との連携などにより地元企業の活性化をすすめるとともに、工場や作業場の集団化をすすめて、工業の振興をはかります。				
	(4) 施策の目的・展開方向	住宅地に点在している工場等の解消を図り、企業相互間の関連性を強め、相乗効果で企業が活性化できるよう、企業の集団化に取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市内の工業、製造業系の企業			
どういう状態に		企業の集団化の機運が高まっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	集団化用地の分譲価格によっては、市内企業が移転できない可能性があるため、民間開発事業者の概算事業費を抑える必要がある。そのため、千葉県立地企業補助金を活用して、民間開発事業者を支援する必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 集団化用地の創出に取り組む地区数	集団化用地の創出に取り組む地区数を指標とすることで、住工混在の解消と集団化事業が着実に進行しているか把握することができるため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	地区	1	1	1	1
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	0	0	0	0
		人件費	0	0	0	0
		合計	0	0	0	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	0			
		人件費	0			
合計		0				

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
住工混在に悩む企業が市外へ流出することを防ぐほか、住環境の保全や恒久的な財源確保のため、集団化用地の創出に取り組んでいく必要がある。	上位施策の目標達成のため、効果的、効率的な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地元企業の活性化に向けた支援	施策コード	21302	施策主管部課	環境経済部 企業立地推進課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	工業の振興			関係課	
	(3) 節の目的	企業間や研究機関との連携などにより地元企業の活性化をすすめるとともに、工場や作業場の集団化をすすめて、工業の振興をはかります。				
	(4) 施策の目的・展開方向	地元企業が活性化するよう、融資制度の充実を図るなど、必要な支援策の整備に取り組むとともに、市内金融機関や千葉県産業振興センターなどの企業支援機関と連携し、中小企業の経営の安定化や設備の拡充を支援します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市内中小企業			
どういう状態に		経営の安定化や設備の拡充が進んでいる				
(6) 施策実施上の課題と対応	市内金融機関との連携強化。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 融資申込件数に対する貸付実行件数の割合	貸付実行件数の割合を指標とすることで、制度の活用状況を把握することができるため					
	② 設備の拡充に対する支援策の数	設備の拡充に対する支援策数を指標とすることによって、支援体制の強化を図るため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値	件	2	2	2	2
		実績値		0			
		達成率		0.00			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	137,837	141,549	141,609	0
		人件費	3,654	4,611	4,611	0
		合計	141,491	146,160	146,220	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	137,231			
		人件費	3,654			
合計		140,885				

施策を構成する事務事業

事務事業名		永年勤続表彰				課名	企業立地推進課		
指標	表彰者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	2	目標値	4		単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	50.00				予算額	2	348
事務事業の施策への貢献度		○高い ●普通 ○低い		評価	現状		実績値	1	348
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
地元企業の活性化、経営の安定化等を図る上で必要な事業であるため、今後も現状どおり推進していく。									
事務事業名		中小企業への資金融資				課名	企業立地推進課		
指標	利子補給件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	309	目標値	310		単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	242	達成率	78.06				予算額	136,558	2,610
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	現状		実績値	136,000	2,610
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
中小企業の運転及び設備資金における事業資金融資の必要が高く、施策に貢献している。									
事務事業名		中小企業退職金共済金補助金				課名	企業立地推進課		
指標	補助対象者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	83	目標値	85		単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	83	達成率	97.65				予算額	1,277	696
事務事業の施策への貢献度		●高い ○普通 ○低い		評価	現状		実績値	1,230	696
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
中小企業で働く従業員及び事業者を支援するうえで重要な施策であり、貢献度は高い。									

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
融資制度の充実を図り、地元企業の支援を行うことで、経営の安定化等を図るために必要である。	上位施策の目標達成のため、効果的、効率的な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
施策の目的である地元企業の活性化を図るためには融資制度の充実には欠かせないものである。今後も制度の周知及び金融機関や関係機関と連携強化を図る。	地元産業の活性化を図るためには、既存企業への支援も必要である。施策の目的を達成するために有効な事業である。
改善検討	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	新たな企業立地や起業・創業の支援	施策コード	21401	施策主管部課	環境経済部 企業立地推進課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	新たな産業の振興と雇用の安定・創出			関係課	
	(3) 節の目的	新たな企業の進出や起業を支援することで、まちに活力を生み出す産業振興をはかります。これにより、市内に働ける場をつくりだします。				
	(4) 施策の目的・展開方向	我孫子市企業立地方針に基づいた新たな企業の立地支援策や企業立地を支援する体制を整備して、まちに活力を生み出す産業振興を進めます。また、市内での多様な主体から生まれる起業や事業者による創業への相談体制の充実を図り、新たな産業の育成に努めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市内外の企業			
どういう状態に		新たな企業の進出や起業・創業しやすい環境が整備されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	各制度のPRを徹底する。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 新たな企業の立地支援策数	支援策の策定件数を指標とすることによって、支援体制の強化を図るため					
	② 起業・創業の累計件数	累計件数を指標とすることによって、創業に対する支援や相談体制の効果を図るため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	件	2	3	3	3
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値	件	56	66	76	86
		実績値		0			
		達成率		0.00			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	9,043	5,932	5,932	0
		人件費	13,485	17,226	17,226	0
		合計	22,528	23,158	23,158	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	8,696			
		人件費	13,485			
合計		22,181				

施策を構成する事務事業

事務事業名	企業が進出・操業しやすい環境づくり（住工混在の解消、企業が進出				課名	企業立地推進課		
指標	産業用地整備基本計画の策定状況				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	5,130	11,310
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	5,078	11,310

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

住工混在の解消や産業用地の創出は、市の産業振興に寄与するものである。

事務事業名	起業・創業の支援				課名	企業立地推進課		
指標	起業・創業した件数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	8	目標値	11	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	6	達成率	54.55			予算額	3,913	2,175
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,618	2,175

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

起業・創業者への支援により、市内における新たな産業の育成と市内産業の活性化を図り、まちの活力を生み出すことに寄与している。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
新たな企業の立地・住工混在の解消や創業に対する支援は、持続可能なまちとして発展し続けるためには必要であることから、企業が進出・操業しやすい環境の整備のための効果的な支援策や起業・創業に係る支援が必要である。	上位施策の目標達成のため、効果的、効率的な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
企業が進出・創業しやすい環境を整備するため、産業用地整備基本計画に基づき効果的な支援策を投じる必要がある。	施策の目的を達成するために有効な事業である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	就労支援の充実	施策コード	21402	施策主管部課	環境経済部 企業立地推進課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	新たな産業の振興と雇用の安定・創出			関係課		
	(3) 節の目的	新たな企業の進出や起業を支援することで、まちに活力を生み出す産業振興をはかります。これにより、市内に働ける場をつくりだします。					
	(4) 施策の目的・展開方向	雇用の安定を図るため、ハローワークや千葉県と連携しながら、求職者を対象とした我孫子市地域職業相談室による雇用相談を充実するとともに、子育て中の母親や中高年者を対象とした千葉県ジョブサポートセンターによる再就職支援セミナーを開催するなど、就労支援の充実を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市内や近隣の求職者				
どういう状態に		雇用機会が拡大されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	地域職業相談室について、PRを徹底する。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 地域職業相談室が紹介した方のうち、実際に就職	就職者数を指標とすることで、就職状況を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	18	20	22	24
		実績値		0			
		達成率		0.00			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	9,217	8,808	8,808	0	
		人件費	4,089	4,959	4,959	0	
		合計	13,306	13,767	13,767	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	8,770				
		人件費	4,089				
合計		12,859					

施策を構成する事務事業

事務事業名	地域職業相談室の運営				課名	企業立地推進課		
指標	年間相談者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	4,581	目標値	4,800	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,706	達成率	77.21			予算額	7,499	1,740
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,407	1,740

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ハローワーク松戸との連携を図り、雇用の安定、市民の就労支援に貢献している。

事務事業名	就労支援事業				課名	企業立地推進課		
指標	セミナーの開催数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	6	目標値	9	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	8	達成率	88.89			予算額	1,718	2,349
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,363	2,349

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

雇用の安定、市民の就労支援に貢献している。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
雇用の安定及び創出を図るためには、雇用相談や幅広い年齢層を対象としたセミナー等の開催が必要である。	上位施策の目標達成のため、効果的、効率的な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
雇用の安定化を図るためには、就労を支援していくことは必要でありハローワークや県との連携を強化し雇用に関する相談体制やセミナーの開催を充実させていく。	雇用の安定と促進を図るという目的を達成するためには有効な事業である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	農業の生産性の維持・向上	施策コード	22101	施策主管部課	環境経済部 農政課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	農業への支援と農業の持つ多面的機能の保全			関係課	農業委員会事務局
	(3) 節の目的	農業の生産性を高めるとともに、農産物のブランド化や加工、販売の工夫など、付加価値の高い農業が展開できるよう支援し、活力ある農業をめざします。また、農業支援をとおして、農業の持つ多面的機能を守っていきます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	農業の生産性の維持・向上を図るため、農地中間管理機構等と連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、近代的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤と農業経営基盤の維持強化に向けた取り組みを進めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	農業生産者			
どういう状態に		農業生産基盤と農業経営基盤が維持・強化されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	農業用排水施設等の土地改良施設については老朽化が進んでおり、計画的な更新が必要である。県、土地改良区及び関係市と連携し、計画的な更新のための事業化を協議していくとともに、施設の機能を損なわないための適切な維持管理が必要である。また、農業経営基盤の強化のためには、担い手農家等に対する農業経営規模の拡大を進めるための支援を積極的に行っていくことが求められる。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 農地利用集積面積（累計）	事業の効果が明確に計測できる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	ha	285.5	305.5	325.5	345.5
		実績値		275.5			
		達成率		96.50			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	275,406	113,010	112,918	0
		人件費	16,356	22,446	22,446	0
		合計	291,762	135,456	135,364	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	109,518			
		人件費	16,356			
合計		125,874				

施策を構成する事務事業

事務事業名	農業振興地域整備計画の管理				課名	農政課	
指標	変更相談・協議案件の処理率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	335
						実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進していく。

事務事業名	植物防疫業務				課名	農政課	
指標	水稲の10a当たり平均収量				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	518	目標値	515	単位	kg	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	518	達成率	100.58				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	8,136
						実績値	5,660

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

近年カメムシやアライグマ等による農作物被害が増えているため、今後も継続して事業を進める必要がある。

事務事業名	水田農業構造改革対策事業				課名	農政課	
指標	生産数量目標達成率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	97	目標値	60	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	97	達成率	161.67				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	4,163
						実績値	4,125

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

全国的に主食用米の取引価格の下落が想定されているため、今後飼料用米取組推進を強化する。

事務事業名	淡水魚かい類種苗放流事業への支援				課名	農政課	
指標	漁獲高				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	0	単位	kg	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	50
						実績値	50

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水魚かい類の増殖率低下を防止するためには、事業の継続が必要であることから、現状どおりに推進する。なお、国による出荷制限等により漁獲制限を受けているもとで、種苗放流のあり方を含めて、今後県と連携し支援方法を検討する必要がある。

事務事業名	農業用排水施設維持管理				課名	農政課	
指標	負担金支出率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	179,728
						実績値	75,043

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和3年度には国営総合農地防災事業に関する同意徴集を行う必要があるため、集中的に事業に取り組む必要がある。

事務事業名	農道整備				課名	農政課	
指標	負担金支出率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	6,313
						実績値	6,300

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も継続して、農道の敷砂利や不陸整正など簡易な整備にかかる経費の一部を負担し、関係土地改良区と連携しその維持保全を図っていく

事務事業名	農業資金利子補給				課名	農政課	
指標	助成金・利子補給金支出率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	15	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	59,055
						実績値	8,876

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事業は、経営規模の拡大や経営改善のために融資を受けた農業者に対して利子補給を行うことで、農業者の負担を軽減し、その育成に大きな効果があるため、今後も継続して推進していく必要がある。

事務事業名	農地集積推進事業				課名	農政課	
指標	担い手農家への農用地集積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	277.9	目標値	285.5	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	275.5	達成率	96.50				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	7,578
						実績値	6,192

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、担い手農家の規模拡大や農業経営の安定化を支援するため、農地の権利移動を促進する事業である。引き続き、農業委員会をはじめ、関係機関と連携し事業を推進していく必要がある。

施策を構成する事務事業

事務事業名	遊休農地対策事業				課名	農政課		
指標	遊休農地等の復元面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	50	目標値	100	単位	a	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	50	達成率	50.00			予算額	116	696
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	696

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は遊休農地（耕作放棄地）を解消し、担い手農家等への利用集積を通じ、農地の有効活用を促進するものである。また、農地農村環境の悪化を防ぐためにも重要な事業であり、今後も必要があれば本事業を活用していくべきである。

事務事業名	鶏伝染病対策事業				課名	農政課		
指標	補助金支出件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	2	目標値	2	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	50.00			予算額	506	261
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	118	261

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

鳥インフルエンザは現在でも発生する可能性があるため、最終的にワクチン接種費及び衛生管理費を主な対象として支援し、伝染病の発生及び蔓延の防止を進めていく。

事務事業名	幹線排水路護岸改修（利根地区）				課名	農政課		
指標	負担金支出済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,124	1,131
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,782	1,131

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も継続して事業を進めていき、適正な維持管理を図る。

事務事業名	手賀沼地域農業農村整備事業				課名	農政課		
指標	負担金支出済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	30	3,132
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	30	3,132

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も継続して事業を進めていく。

事務事業名	農業用ハウス強化緊急対策事業				課名	農政課		
指標	補強施設普及件数				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	1	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	10.00			予算額	5,000	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	70	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和3年度は当事業の活用予定は無いが、近年台風等による農業用ハウス等の被害が増えているため、当事業を活用し事前対策の推進を行っていく。

事務事業名	農地基本台帳の整備				課名	農業委員会事務局		
指標	期限内回収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	75	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	76	達成率	95.00			予算額	1,272	1,740
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,272	1,740

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

農地法に基づく農業委員会の事務のため、引き続き事業を推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
農業の生産性向上のためには、生産基盤の整備とともに農業経営の安定化のための施策を進めていく必要があることから、水田地区でのほ場及び用排水施設の機能の維持・整備を進めた。また、農地を有効活用するための施策を展開した。当該施策は継続性が求められることから、今後もひきつづき推進するものとする。	農業の生産性向上のための生産基盤の整備や農業経営の安定化のため施策を進めていく必要があり、水田地区でのほ場及び用排水施設の機能の維持・整備を進めた。また、農地を有効活用するための施策の継続性が求められることから、今後もひきつづき推進するものとする。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	農業の付加価値を高める取り組みへの支援と担い手の育成	施策コード	22102	施策主管部課	環境経済部 農政課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	農業への支援と農業の持つ多面的機能の保全			関係課	
	(3) 節の目的	農業の生産性を高めるとともに、農産物のブランド化や加工、販売の工夫など、付加価値の高い農業が展開できるよう支援し、活力ある農業をめざします。また、農業支援をとおして、農業の持つ多面的機能を守っていきます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	生産者が意欲を持って農業経営に取り組めるよう、新品種・新品目・高品質栽培の導入などによる農産物のブランド化や加工品の開発、ネット販売や詰合せ販売など消費者ニーズに応えた販売方法の導入、大学や商工業者、NPO等とも連携した事業の展開など、農業の付加価値を高めるためのさまざまな取り組みを支援します。また、我孫子産の農産物や加工品等を市内外に広くPRし、販路の拡充を進めます。さらに、将来の農業経営に夢と希望が持てるよう、先進事例や成功事例、各種支援制度などの情報提供を積極的に行うことにより、事業展開のきっかけづくりをサポートし、農業の多様な担い手を育成します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	農業生産者			
どういう状態に		農業の付加価値が高まり、生産者が意欲を持って農業経営に取り組んでいる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子市農業は、従来、低湿地帯水田での水稲作が中心であり、畑作については、行商などの伝統もあることから小量多品目栽培が特徴となっている。したがって、産地形成がなされておらず、特産品と言われるものもない状況から、ブランド品開発等は今後の課題である。農業の付加価値を高めるためのさまざまな取り組みを支援する中で、そうした農業に取り組む意欲ある農業者を育成するとともに我孫子産の農産物や加工品等を市内外に広くPR、活力ある農業を育てていくことが求められる。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 認定農業者の人数	事業の効果が明確に計測できる					
	② 新規就農者の人数	事業の効果が明確に計測できる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	44	47	48	49
		実績値		43			
		達成率		97.73			
	②	目標値	人	22	24	27	29
		実績値		21			
		達成率		95.45			
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	13,468	12,153	12,153	0
		人件費	7,830	8,787	8,787	0
		合計	21,298	20,940	20,940	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	11,937			
		人件費	7,830			
合計		19,767				

施策を構成する事務事業

事務事業名 認定農業者施設整備事業費補助事業					課名	農政課	
指標	認定農業者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	42	目標値	44	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	43	達成率	97.73			予算額	4,000
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
					実績値	2,960	2,871

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、本市における次代の農業の担い手育成にあたり重要な事業であり、今後も継続して当事業を推進していく必要がある。

事務事業名 県営担い手育成基盤整備事業					課名	農政課	
指標	負担金支出済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	76	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	131.58			予算額	3,465
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
					実績値	3,465	348

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も継続して未施行部分の支線用排水路の整備、揚水機場の整備、排水不良を解消するためのほ場の暗渠排水及び客土など、ほ場の高度利用を図る整備を行うことで、農地の高度利用を図る。

事務事業名 新規就農支援事業					課名	農政課	
指標	新規就農者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	21	目標値	22	単位	経営体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	21	達成率	95.45			予算額	5,503
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
					実績値	5,386	3,306

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は次世代の担い手を確保・育成していく上で重要な事業であり、農業委員会や東葛飾農業事務所等と連携し、引き続き事業の推進を行なっていくことが必要である。

事務事業名 6次産業化推進事業					課名	農政課	
指標	農産物の加工施設を有する農業者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	5	目標値	6	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	16.67			予算額	500
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
					実績値	126	1,131

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

農業の付加価値を高めるという施策を実現するため必要な事業であることから今後も引き続き推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
市内農家は概して小規模農家が大勢を占め、水稲作を軸とした収益性の低い農家の特徴から、担い手農家の育成が困難な状況である。認定農業者等の担い手農家の育成は、将来の我孫子市農業のカギを握るものであり、系統的に育成することが求められる。また、同時に、農家後継者、新規就農者、法人参入など多様な担い手の育成が必要である。	農家の高齢化・担い手不足は深刻な課題であり、認定農業者等の担い手農家の確保は急務である。また、農業は食糧の安定的な供給・自然環境などの環境保全機能といった公益的な機能を持つことから将来にわたる担い手農家の育成確保は極めて重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
農業従事者の高齢化・後継者不足は深刻度を増しており、次代の担い手を確保し、農地の遊休化防止・遊休農地の有効活用を進めていくためには、付加価値を高めた活力ある農業を育成・支援するなど、県、農業委員会、JA、土地改良区等と連携して計画的に多様な農業経営体を確保・育成する必要がある。	担い手農家の確保は急務である。また、農業は食糧の安定的な供給・自然環境などの環境保全機能といった公益的な機能を持つことから将来にわたる担い手農家の育成確保は極めて重要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	環境保全型農業の普及・支援	施策コード	22103	施策主管部課	環境経済部 農政課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	農業への支援と農業の持つ多面的機能の保全			関係課		
	(3) 節の目的	農業の生産性を高めるとともに、農産物のブランド化や加工、販売の工夫など、付加価値の高い農業が展開できるよう支援し、活力ある農業をめざします。また、農業支援をとおして、農業の持つ多面的機能を守っていきます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	農業が持つ水源のかん養や洪水の防止、自然環境の保全、良好な景観の形成といった多面的機能を維持するため、こうした機能について市民の理解を深めるとともに、生産者と連携しながら環境保全型農業の普及・促進を図り、環境にやさしい農業に取り組みます。また、エコ農産物の栽培・供給に取り組む農家を積極的に支援し、育成します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	環境保全型農業				
どういう状態に		普及している					
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子市においては、個々の農家では化学合成農薬や化学肥料を使用しないか又は使用を抑えた栽培に取り組んでいる者がいても、あえて有機JASやちばエコ農産物の認証を受けて販路開拓する農家は少ない。しかし、環境保全型の農業を普及することは、地産地消を推進し安全安心な農産物を消費者市民に提供していくうえで重要である。また、環境への寄与も大きい。よって、我孫子市としてのエコ農業推進計画を策定するとともに、県やJA等と連携して有機栽培等の普及に努めるものとする。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 「ちばエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	事業の効果を明確に計測できる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	51	55	57	59
		実績値		43			
		達成率		84.31			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	16,015	16,447	16,447	0	
		人件費	3,567	3,567	3,567	0	
		合計	19,582	20,014	20,014	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	14,894				
		人件費	3,567				
合計		18,461					

施策を構成する事務事業

事務事業名	有機栽培等農業者支援事業				課名	農政課	
指標	有機栽培等農業に取り組む経営体数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	46	目標値	51	単位	経営体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	43	達成率	84.31			予算額	16,015
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	14,894

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、環境にやさしい農業の推進に向けた環境保全型農業の普及・推進に必要不可欠な事業となっており、令和2年度から市独自のエコ農産物の認証制度であるあびこエコ認証制度が開始されたため、引き続き今後も推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
有機栽培や特別栽培は、多くの手間と経費を要するため、高齢化と資材等負担で多くの困難を抱える農家に広く普及することは、容易ではない。しかし、市が進める地産地消の推進と合わせ、栽培方法の支援や経費負担軽減を行うことで、視野を広げていくことが可能である。	環境保全型農業の普及は、地産地消推進の要となるものであり、広く普及することが重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
有機栽培や特別栽培は、多くの手間と経費を要するため、高齢化と資材等負担で多くの困難を抱える農家に広く普及することは容易ではない。しかし、市が進める地産地消の推進と合わせ、栽培方法の支援や経費負担軽減支援を行うことで、裾野を広げていくことが可能である。引き続き「あびこエコ農業推進基本計画」に基づく支援を展開し、普及を促進する必要がある。	環境保全型農業の普及は、地産地消推進の要となるものであり、広く普及を促進することが重要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地産地消の推進と農によるにぎわいづくり	施策コード	22201	施策主管部課	環境経済部 農政課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域と連携した農業の育成			関係課		
	(3) 節の目的	生産者と消費者がお互いに信頼し協力し合うことで、品質と安全性の高い地元農産物が地元を中心に消費される農業を確立します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	地元農産物を地域内で消費する地産地消を推進するとともに、市の交流人口を増加させる役割を担う農業拠点施設を整備し、消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物を供給します。また、食育を推進するため、学校給食などへの地元農産物の供給や、食と農に関する情報提供・人材育成などに積極的に取り組みます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	農産物				
		どういう状態に	地産地消が進んでいる				
(6) 施策実施上の課題と対応	地域と連携した農業の育成のためには、生産者と消費者がお互いに信頼し協力し合うことが重要であり課題である。あびこ型「地産地消」推進協議会と連携を図りながら信頼と協力関係を築いていくことが求められる。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① あびこ型「地産地消」推進協議会会員数	事業の効果が明確に計測できる。					
	② 手賀沼親水広場・農業拠点施設の年間延利用者数	事業の効果が明確に計測できる。					
	③ 学校給食への地元農産物を供給した回数	事業の効果が明確に計測できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	153	154	155	156
		実績値		165			
		達成率		107.84			
	②	目標値	人	380,000	390,000	400,000	410,000
		実績値		398,659			
達成率		104.91					
③	目標値	回	145	150	155	160	
	実績値		81				
	達成率		55.86				
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	5,837	6,139	6,037	0	
		人件費	11,310	12,180	12,180	0	
		合計	17,147	18,319	18,217	0	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	5,272				
		人件費	11,310				
合計		16,582					

施策を構成する事務事業

事務事業名	あびこ型「地産地消」推進協議会の充実				課名	農政課		
指標	あびこ型「地産地消」推進協議会の会員数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	152	目標値	154	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	165	達成率	107.14			予算額	3,150	3,567
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,150	3,567

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり引き続き実施していく。

事務事業名	農業拠点施設維持管理事業				課名	農政課		
指標	農業拠点施設の年間延べ利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	372,229	目標値	380,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	398,659	達成率	104.91			予算額	2,687	7,743
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,122	7,743

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり引き続き実施していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>あびこ型「地産地消」推進協議会の活動を強化し、学校給食への地場産野菜の供給拡大、消費者・農家の交流拡大など、食育推進とともに、消費者・農家の信頼関係の構築を行っていくことが重要である。また、農業拠点施設の運営を通し、農業者の所得向上と消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物を供給していくことが必要である。</p>	<p>農産物の地産地消を進めることは、消費者ニーズに応えた安全安心な農産物を消費者市民に提供し、食育推進にもつながる重要な事業であり、積極的に取り組むことが必要である。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>農産物の地産地消を進めることは、消費者ニーズに応えた安全安心な農産物を消費者市民に提供し、食育推進にもつながる重要な事業であり、積極的に取り組むことが必要である。</p>	<p>あびこ型「地産地消」推進協議会の活動を強化し、学校給食への地場産野菜の供給拡大、消費者・農家の交流拡大など、食育事業の推進を図った。今後、地産地消をさらに進めていくためには、消費者・農家の信頼関係を一層深めていくことが重要である。</p>
改善検討	
<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	農業とのふれあいや生産者との交流の促進	施策コード	22202	施策主管部課	環境経済部 農政課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域と連携した農業の育成			関係課	
	(3) 節の目的	生産者と消費者がお互いに信頼し協力し合うことで、品質と安全性の高い地元農産物が地元を中心に消費される農業を確立します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	多くの人が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園や農家開設型ふれあい体験農園などの農業体験の場の提供を進めます。また、農業拠点施設を活用し、農業まつりなどの生産者との交流の機会や農業に関するさまざまな情報を積極的に提供します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
どういう状態に		農業とふれあい、生産者との交流が進んでいる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	市民が身近で農業を理解するためには、消費者・市民が直接農産物栽培に取り組み、農家とも直接交流することが重要である。そのための場として、市民農園などの体験ほ場や農家と交流できるイベントなどの機会を提供する必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 農家開設型ふれあい農園の利用者数	事業の効果が明確に計測できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	550	600	630	650
		実績値		513			
		達成率		93.27			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	2,589	2,589	2,589	0
	人件費	3,132	3,306	3,306	0
	合計	5,721	5,895	5,895	0
(10) 実績値 (千円)	事業費	2,009			
	人件費	3,132			
	合計	5,141			

施策を構成する事務事業

事務事業名	市民農園維持管理事業				課名	農政課	
指標	市民農園利用区画数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	108	目標値	120	単位	区画	事業費(千円)	
実績値	103	達成率	85.83			正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	1,539
						実績値	1,519

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

日秀新田市民農園は市民の健康づくり等の場として重要な機能を有しているため、引き続き当該事業を推進していく。

事務事業名	農家開設型ふれあい農園事業				課名	農政課	
指標	農園利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	508	目標値	550	単位	人	事業費(千円)	
実績値	513	達成率	93.27			正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	1,050
						実績値	490

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市民が身近で農業を体験できる場を多く確保するために、今後も引き続き農家開設型ふれあい農園の新規開設・維持管理に関する支援を行なっていくことが必要である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
農家開設型ふれあい体験農園を市民に利用してもらうとともに、農業まつりなどのイベントを積極的に開催することで、消費者・市民と農家がふれあい、交流できる場を提供していくことが必要である。	我孫子市の農業は単なる農産物の生産機能だけでなく、環境その他について市民にとっての多面的機能を有しており、大切にしていかなければならない市全体としての財産である。こうしたことは農業とのふれあいや交流を通じて、市民全体に理解されていくものであることから、積極的にふれあいや交流の場を設けていくことが重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
市民農園と農家開設型ふれあい体験農園の利用促進を図った。また、農業まつりなどのイベントを積極的に開催し、消費者・市民と農家がふれあい、交流できる場を提供した。高野山新田地区利用構想を踏まえた旧水生植物園を含めた市民農園跡地ゾーンを地権者等と今後の利活用を検討することとした。	我孫子市の農業は単なる農産物の生産機能だけでなく、環境その他について市民にとっての多面的機能を有しており、大切にしていかなければならない市全体としての財産である。こうしたことは農業とのふれあいや交流を通じて、市民全体に理解されていくものであることから、積極的にふれあいや交流の場を設けていくことが重要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和2年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援	施策コード	22203	施策主管部課	環境経済部 農政課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域と連携した農業の育成			関係課		
	(3) 節の目的	生産者と消費者がお互いに信頼し協力し合うことで、品質と安全性の高い地元農産物が地元を中心に消費される農業を確立します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	手賀沼沿いの根戸新田地区、高野山新田・我孫子新田地区・岡発戸新田地区の農地について、観光振興施策や環境啓発施策、農業拠点施設におけるさまざまな事業との連携による活用を図るとともに、農地を耕作する農業者への支援を行い、手賀沼や斜面林等と一体となった豊かな自然環境を保全していきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	根戸新田地区、高野山新田・我孫子新田地区・岡発戸新田地区の農地				
どういう状態に		保全・活用が図られている					
(6) 施策実施上の課題と対応	手賀沼沿いの根戸新田地区、高野山新田・我孫子新田地区・岡発戸新田地区の農地については、手賀沼や斜面林と一体となった豊かな自然環境を保つ上で重要な役割を担っており、当該農地の保全を行っていくためには、その農地を耕作する農業者への支援を行っていくことが必要である。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 手賀沼沿い農地の保全・活用面積	事業の効果が明確に計測できる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	ha	30.2	30.5	30.5	30.5
		実績値		30.87			
		達成率		102.22			
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	54,319	22,791	22,791	0
		人件費	10,179	10,614	10,614	0
		合計	64,498	33,405	33,405	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	51,099			
		人件費	10,179			
合計		61,278				

施策を構成する事務事業

事務事業名	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援				課名	農政課	
指標	手賀沼沿い農地活用計画に沿った農地活用面積				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	299,982	目標値	302,000	単位	m ²	事業費(千円)	
実績値	308,700	達成率	102.22			正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	54,319
						実績値	51,099

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も手賀沼沿い農地活用計画に基づき、農地の保全活用と農業者支援を進め、我孫子市手賀沼沿い農用地等保全活用事業補助金交付要綱に基づく支援の継続及び排水対策維持工事を実施していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>手賀沼沿い農地活用計画は、農業者が主体的に農地農地活用に取り組み、そこに都市住民が参画することにより農を共有し、都市と農業が共生するなかで、新たな農業形態を構築するものである。そのためには先ず、農業者が農地活用に取り組める環境を整えることが大切であり、農地活用へのきっかけや動機づくりとして事業支援と事業費支援は必要不可欠なものである。</p>	<p>手賀沼沿い農地活用に当たっての農業者への事業支援と事業費支援は、農業者に経済的支援をはじめ、事業実施に際しての安心感をもたらし、農地活用の取り組みへの動機づけや意欲の向上が見込まれることから、手賀沼沿い農地活用計画を推進するうえで効果的な施策である。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>手賀沼沿いの農地は、ほ場整備も用排水整備も十分行われておらず、後継者も十分でないことから、将来にわたり農業を持続させていくことは難しい。よって、「手賀沼沿い農地活用計画」を基に、農地保全活用の支援や排水対策事業を適切に進めていく必要がある。</p>	<p>手賀沼沿いの農地は、ほ場整備も用排水整備も十分行われておらず、後継者も十分でないことから、将来にわたり農業を持続させていくことは難しい。よって、「手賀沼沿い農地活用計画」を基に、農地保全活用の支援や排水対策事業を適切に進めていく必要がある。</p>
改善検討	
○要	●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向